



平和首長会議ニュース

2020年5月 / 第125号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,905 自治体

日本国内加盟自治体数：1,733
(2020年5月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

- 🌐 ウェブサイト：
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>
 - 📘 フェイスブック：
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>
 - 🐦 ツイッター：
<https://twitter.com/Mayors4Peace>
- 「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆「NPT 締約国に対する市民社会の共同声明」に賛同を表明しました
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆ヨーロッパ支部がグローバル停戦を呼びかける声明を発表しました
- ◆第10回平和首長会議総会の開催を延期します
- ◆広島市立大学からのお知らせ：広島平和研究所が紀要『広島平和研究』第7号を発行しました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,905 自治体

■「NPT 締約国に対する市民社会の共同声明」に賛同を表明しました

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議は延期されました。これを受け、国連と市民社会の組織間で調整役を務める団体 Reaching Critical Will がピースボートの川崎哲共同代表や平和首長会議のジャクリーン・カバツソ専門委員等に起草を呼び掛け、世界の NGO 等が各国政府に対して核軍縮の進展を求める共同声明を作成し、同条約の無期限延長を決めた日から 25 周年を迎えた 5 月 11 日に、NPT 締約国に対して送信しました。

共同声明の主旨は、以下のとおりです：

- ①NPT 体制を長期的に存続させるため、全ての国に義務の履行を求める
- ②世界の安全保障環境が不安定でリスクが高まっている中、あらゆる核兵器の使用は破滅的な人道上の帰結をもたらすことを認め、行動することを求める
- ③合意を形成し軍縮のための行動をとることは、核兵器のない世界の実現に向けて環境を整えることにつながり、世界の差し迫った課題解決にも寄与する

平和首長会議はこれに賛同し、賛同団体として名を連ねました。

▼共同声明全文(英語)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/200511_Joint_Statement_E.pdf

▼日本語訳(ピースボート提供)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/200511_Joint_Statement_J.pdf

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
 =====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO 等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を本紙「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

本号では、加盟自治体から事務局に寄せられた令和元年度の取組をご紹介します。

◇平和を希求する心を育てる取組の好事例(令和元年度分)

※事業の詳しい内容は各事業名(「取組の名称」欄)をクリックしてください。

区 分	自治体名	取組の名称	実施期間
展示・上映	埼玉県桶川市	令和元年度「平和を考える10日間事業」	8/6～8/15
	千葉県鴨川市	平和を考える上映会	8/18
	東京都町田市	子どもも学べる平和イベント	7/20、8/3 8/5～8/9
	三重県亀山市	非核平和普及啓発	8/3、12/7
	京都府京田辺市	平和のつどい・平和展	8/6～8/11
	大阪府大東市	親と子で平和を考える集い	9/21
式典・講演会 シンポジウム・コンサート	栃木県宇都宮市	宇都宮市平和のつどい	7/14、 9/17～12/13
	兵庫県加古川市	加古川市平和祈念式	10/5
戦争被害地 (広島・長崎等)派遣	茨城県石岡市	石岡市中学生平和大使派遣事業	8/8～8/10
	栃木県日光市	広島平和記念式典派遣事業	8/5～8/7
	栃木県宇都宮市	平和親善大使広島派遣事業	8/5～8/7 9/12、11/14
	東京都台東区	台東区平和祈念事業 中学生広島派遣	8/5～8/7
	京都府京田辺市	平和を考える小・中学生ひろしま訪問事業	7/24～7/25
	福岡県朝倉市	あまぎ・たちあらいをめぐるキッズフィールドワーク	10/21
平和学習・講座・研修	大阪府大東市	平和バスツアー	8/1
募集・コンクール	埼玉県東松山市	花とウォーキングのまちの平和賞	7/1～9月上旬 1/21～26
	愛知県春日井市	「平和への願い」をテーマとした作文の創作	4/9～8/5
	京都府綾部市	世界連邦推進綾部市小・中学校ポスター・作文コンクール	6/27～9/13
その他	広島県広島市	長崎市立坂本小学校と広島市立基町小学校との交流「レインボー～ピースをつなげて～」の歌の制作	4月～11月

=====
■ヨーロッパ支部がグローバル停戦を呼びかける声明を発表しました
=====

平和首長会議ヨーロッパ支部が国連事務総長によるグローバルな即時停戦の呼びかけを支持する声明を発表しました。その中で、「今こそ武力紛争を“ロックダウン”し、国際協力の推進や外交に力を注ぐ時です。世界中の人々が今、コロナウイルスを克服するために力を合わせなければなりません。平和のために立ち上がり、あらゆる争いに終止符を打ちましょう。」と表明しています。

▼声明の全文はグラノラーズ市 HP からご覧いただけます(英語・スペイン語)：

<https://wp.granollers.cat/alcaldesperlapau/qui-som/manifests/>

=====
■第 10 回平和首長会議総会の開催を延期します
=====

2020 年は被爆 75 周年であり、平和首長会議が被爆者の存命のうちに核兵器廃絶を実現したいと願い策定した行動指針「2020 ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」の目標年でもあります。

そのため、原則 4 年に一度の開催としてきた平和首長会議総会を 1 年前倒し、2020 年 8 月の広島市開催に向けて準備を進めてきたところです。

しかし、新型コロナウイルスの感染が全世界に急速に拡大し、早期の終息は困難であると見込まれることから、役員都市との協議により、2020 年の総会開催を取り止め、2021 年 8 月(本来の 4 年周期の開催年)の広島市開催に向け調整することとしました。

これに伴い、次期ビジョン及び行動計画は 2021 年の総会時に策定することとなりますが、2020 ビジョンは 2020 年末をもって終了し、2020 ビジョンに基づく現行動計画は 2021 年の総会まで暫定的に終期を延長し、取組を継続する取扱いとします。

ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。



=====
■広島市立大学からのお知らせ:広島平和研究所が紀要『広島平和研究』第 7 号を発行しました
=====

広島市立大学の広島平和研究所は 3 月、紀要『広島平和研究』第 7 号を発行しました。「平和」の理論研究や事例分析を扱う学術誌として 2013 年に創刊し、毎年 1 号のペースで発行しています。

〔紀要『広島平和研究』第 7 号〕

- 巻頭のエッセイ「平和研究の窓」の筆者は藤本 黎時(なほじ)・元広島市立大学学長で、タイトルは「負の遺産の保存と継承」です。海軍軍人を父親に持つ藤本氏は横須賀で生まれ、幼少期に海軍工廠(こうしやう)のあった呉に移り住みました。中学 2 年で終戦を迎えますが、直前に父親が戦死して母子家庭に。エッセイ冒頭ではそのような少年時代の戦争体験を、冷静な筆致で淡々と記述しています。次に、10 年あまり前に学長を引退して以降、訪問したドイツ各地の追悼記念施設の印象が綴られ、日本の追悼・慰霊施設との比較や、広島の被爆建物の保存のあり方にも言及しています。最後に、アイルランド文学の専門家らしく、アイルランドにおける悲劇的体験の記憶の継承について思いを巡らしつつ、「被爆体験の記憶の継承」という広島の課題に示唆を与えています。一つ一つの文章が氏の実体験に裏打ちされた、重みのある証言・提言になっています。
- 特集論文のテーマは「アジアの安全保障」。現代の東南アジアおよび東アジアの安全保障に関する論文(英語)です。
- 独立論文は、1970 年代のフィリピン残留日本兵に関する当時の新聞報道の分析と、戦後日本で「平和国家」・「平和憲法」が形成されるプロセスの検証に関する論文です。(特集論文・独立論文はいずれも広島平和研究所の研究者による論考です。)
- 特別報告は、1950 年～1980 年代の旧西ドイツにおける反核平和運動とその指導者に関する報告(英語)と、日朝間で今まで続いている大学生交流を 8 年間、追いかけてきた通信社の若手地方記者(女性)による、変化(へんげん)する平壤(ピョンヤン)の学生についての貴重な報告です。
- 書評は、ここ数年、日本の論壇をにぎわしている「歴史戦」なるロジックの手法を明らかにした山崎雅弘著『歴史戦と思想戦』などを取り上げています。

▼紀要『広島平和研究』(広島平和研究所ウェブサイト)

https://www.hiroshima-cu.ac.jp/peace_j/category0013/content0252/

(水本和実・広島市立大学広島平和研究所教授)

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 67 回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
新型コロナウイルスの感染拡大を巡る「出口」はまだはつきりと見えてきません。今年は被爆 75 年ですから、本来ならさまざまな平和行事が広島市内、国内、海外で開催されているはずですが、そのような機会はほとんどなくなり、残念な事態が続いています。

そんな中でも、オンラインの会議機能を使って語り合ったり、被爆体験に耳を傾けたりする試みが各地で行われています。

たとえば、NGO(非政府組織)ピースボートは、ニューヨークで核拡散防止条約(NPT)再検討会議が開幕する予定だった 4 月下旬に合わせて、オンラインでイベントを開きました。「ステイ・ホーム」している間に核軍縮の機運がしぼんでいくことがあってはならない、という強い意思を若者や市民、被爆者が発信しました。普段は広島や長崎を訪れることができない人たちも気軽に参加できるため、被爆体験をライブで聞いたり、「核兵器の問題を真剣に考えている人は各地にたくさんいる」と心強く思ったりできる場になっているようです。地理的な距離を超えて核兵器廃絶への思いを共有する、新たな可能性が開かれています。

ただ本当は、被爆地という「場」を実際に感じ、被爆者の肉声を直接聞くことのできる状況にあるのが一番でしょう。早くそうなることを願うしかありません。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○核廃絶議論 絶やさない NPT会議延期で連携訴え ピースボートがオンライン会議

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=97558>

○原爆資料館入館 最多 175 万人 19 年度 本館改修など効果

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=97042>

○被爆「唯一生存」伝える 広島市中区 本川小資料館に展示

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=97332>

○被爆ピアノ常設展示へ 平和記念公園レストハウス 愛用の女子学生 生涯も紹介

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=97298>

○パルチコフ一家 被爆前の日常 白系ロシア人、1922～45 年に広島で撮影

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=97709>

=====
■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動の活発化と、連帯意識のより一層の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、平成 27 年度から 1 自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

加盟自治体の皆様へは、本年 4 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。納付金の納付期限は 6 月 30 日(火)となっておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨をご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf



なお、2019年11月、ハノーバー市において開催された第11回平和首長会議理事会において、2020ビジョンの最終年である2020年に、行動計画に掲げている以下の3項目に重点的に取り組んでいくことが決定されています。

- ① 「核兵器禁止条約」の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大
→具体的な取組については[こちら](#)
- ② 次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施
→具体的な取組については[こちら](#)
- ③ 広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年「平和と交流」支援事業等の充実
→具体的な取組については[こちら](#)

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,905 自治体
=====

5月1日付で、4自治体が加盟し、加盟自治体数は7,905(163各国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

スイスからシャフハウゼン市が加盟しました。4月に加盟した同国のヴィンタートゥール市の呼び掛けによるものです。

ドイツからグライフスヴァルト市など3自治体が加盟しました。平和首長会議副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けによるものです。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

▼5月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2020/newmembers2005_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局


〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！